農業の新しい技術

No.515(平成 15 年 6 月) 分類コード 02 - 11 熊 本 県 農 政 部

優良シバ型草種の選定と吹付け法による法面等の 簡易草地造成技術

農業研究センター 畜産研究所 飼料生産利用部

担当者:石原 健

研究のねらい

低標高地域における耕作放棄地等の有効利用による肉用牛の省力・低コスト生産を推進するためには、 草種(品種)の選定や放牧草地の造成と利用技術の検討が重要である。

そこで、低標高地域における放牧に適したシバ型草種(品種)を選定するとともに、放牧草地の簡易造成技術を確立する。

研究の成果

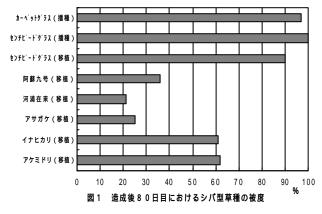
1.優良シバ型草種の選定

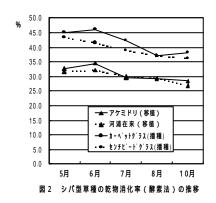
- 1) センチピードグラスやカーペットグラスは、在来(育成) ノシバに比べて広がりが速く、早期造成が容易である(図 1)。また、センチピードグラスは、移植法より播種法が早期造成が可能である(図 1)。
- 2) センチピードグラスやカーペットグラスは、在来(育成) ノシバに比べて消化率が高い(図 2)。 また、各草種とも消化率は $5 \sim 6$ 月が高く、それ以降は低下する傾向にある(図 2)。
- 3)可消化収量は、センチピードグラス(播種)が最も高く、また、移植より播種する方が高くなる (図3)。
- 2.吹付け法による造成技術
 - 1) センチピードグラス等は種子が小さく(表 1)、吹付けによって均一播種が可能となる。
 - 2)センチピードグラス種子を用いて、吹付け法によって法面を草地造成した結果、1ヶ月後から急速に広がり始め、約130日で60%の被度となる(写真1、図4)。
 - 3)吹付け法における機材コストは 289,853 円である。また、10 アール当たりの資材コスト(25,358円)の約 93 %は種子代であり、作業時間は 30 分(3 人)である(表 2)。

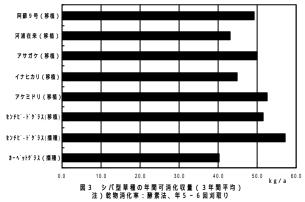
普及上の留意点

1.優良シバ型草種の選定

- 1)センチピードグラス等は播種とし(適期:5月)、播種量は3kg/10a程度とする。
- 2)施肥は 10a 当たり、基肥として炭酸苦土石灰 50 ~ 100kg、窒素・リン酸、カリ各 3 ~ 8kg、追肥として窒素・カリ各 3 ~ 5kg を施用する(年 1 回、退牧時)。
- 3)シバ型草種は初期生育が遅く、雑草と競合するため、除草対策(掃除刈り、除草剤、強放牧)と ともに、雑草繁茂時の施肥を抑制することが重要である。
- 4) センチピードグラスはカーペットグラスに比べ種子価格が高いことに留意する。
- 2.吹付け法による造成技術
 - 1)法面の他、傾斜地や岩石の多い平坦地等条件不利地にも有効である。
 - 2)より良好な定着を確保するため、雑草や夾雑物の除去を入念に行う。
 - 3)施肥は追肥を原則として、窒素・リン酸、カリを各 5kg 程度を年 1 回、退牧時等に施用する。
 - 4)発芽後生育が遅いため、放牧牛による蹄傷が懸念されるときは、電牧等で保護する。







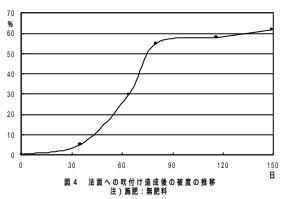




写真1 草地法面への吹付け作業

表2 吹付け法による造成コスト及び作業時間

表1 千粒重(g) センチピードグラス 0.83 カーペットグラス 0.48 バヒアグラス 1.78~3.14

機材コスト(円、税込み)		資材コスト(円/10a、税込み)		
エンシ゛ンホ゜ンフ゜	61,740	養生材(古紙)	10kg	1,260
消防ホース(40mmx 40m)	47,250	接合剤 1kg		473
ノズル等	38,063	種子(センチピー	゛グ ラス) 3kg	23,625
撹拌機	18,900	水(水道)	500 I	82
発電機(1.6w,100v)	105,000	計		25,440円
ポリタンク(500 L)	18,900	作業時間(10a当たり)		
計	289,853円		30分、3人	